

むつ市議会だより

！議会だより工事中！



絵：秋の味覚／伴 亜希穂さん(青森県立むつ工業高等学校 2年生 CGイラスト愛好会)

議会報告会および意見交換会 「ぷらっとふれあいトークン」 開催のお知らせ

● 開催日時・場所

- ・ 11月8日(金) 18時～
会場：むつ市役所(議会棟 大会議室)
大畑公民館(視聴覚室)
- ・ 11月9日(土) 14時～
会場：川内公民館(大集会室)
脇野沢地域交流センター
(集会室)

※事前申込不要 / 詳細はむつ市議会ホームページへ

決算審査特別委員会 P2～3 令和5年度の 予算の執行状況は？ 2日間の集中審査！

TOPICS

市民の声

裏表紙
青森大学
むつキャンパス生と
意見交換会を開催

詳しく知りたいむつ市議会(公式ホームページ)→



決算審査特別委員会開催！ 令和5年度の予算の執行状況は？ 2日間の集中審査！～主な質疑を紹介～



JR大湊線活性化協議会負担金

JR大湊線利用の促進

～ローカル鉄道の活性化へ～

問

むつ市の負担割合と実施した事業は。

答

負担総額は118万9千円で、むつ市は5割負担の59万4500円、沿線自治体の横浜町と野辺地町が各29万7250円の負担となっている。事業は、大湊線の利用状況と意見やニーズを把握するためのアンケートを実施した。



燃料価格高騰対策事業

燃料券の利用状況は？

～事業費1億4804万9393円～

問

燃料券の配布枚数と使用状況、高齢者施設・入所者の利用の実情は。

答

10万3930枚配布し、10万566枚が使用され、3364枚が未使用となっている。また、高齢者施設に入所されている方からは、使用できない等の理由で、市に3枚の返戻があった。



地域おこし協力隊設置事業

地域おこし協力隊の実績は？

～川内・脇野沢地区での活動状況～

問

令和5年度の地域おこし協力隊が企画・開催した地域別でのイベント等の数は。

答

川内地区では7件、脇野沢地区では2件の計9件となっている。



むつ市地域の明るい
未来づくり応援補助金

集会所を修繕したい

～活動拠点設置等補助 84万1394円～

問

希望があった町内は全て対応したのか。また、本事業の対象とならなかった事例はあったか。

答

町内からの要望は10件あり、令和5年度は4件執行している。対象とならない事例はなく、予算の執行できる範囲で優先順位をつけて行った。



新規高卒者市内定着支援事業

何人が市内で就職しているの？

～事業費223万8399円～

問

本事業の費用対効果は。

答

高校生対象の企業見学会参加者のうち、市内の企業に就職した人数は、令和3年度20名、令和4年度14名、令和5年度6名と年々減少している。これは、市内に大学ができたことが要因となっているものと推測している。

デジタル地域通貨事業

デジタル地域通貨導入の可否

導入は一旦立ち止まる

問 委託事業者との契約解除による委託料の支払い根拠は。

答 事業の進捗が思わしくなかったことから、相手方から契約解除の申し入れがあった。市で委託内容を精査したところ、履行率が29.5%と算出されたことから、委託料290万4000円のうち、85万8000円の委託料を支払った。

あおもりグローバルアドバンスプロジェクト2023

シンガポール国立大学との交流

シンガポールでむつ市をPR

問 短期留学したシンガポール国立大学生は帰国後、むつ市のPRをどのように行っているのか。

答 現地で物販イベントを開催し、むつ市の特産品を紹介、販売を行っている。インターンシップ期間での売上金額は、111万円の売上実績がある。また、観光フェアも開催し、むつ市の魅力発信もしている。



短期留学後、現地でむつ市のPRを行っている様子

Satoyama 推進事業

むつ市の魅力を英字新聞で発信

負担金132万円

問 事業効果は。

答 令和4年度と5年度に事業を実施したが、費用対効果を分析した結果、令和6年度は事業の廃止に至った。

教職員勤怠管理実施事業

教職員の正確な勤務実態

事業費437万8572円

問 タイムカードを導入した目的と効果は。

答 これまでは、教職員自身が勤務時間をつけていたが、タイムカード導入後は、より実態に近い出勤・退社の時間を把握できるものと考えている。

冷凍ベビーホタテ消費拡大

対策学校給食活用事業

ホタテの消費拡大へ

事業費1913万36円

問 事業の実績は。

答 処理水の風評被害や価格が下落したホタテの流通販売対策として、北海道・東北地区の学校給食に無償提供し、こども達に食べていただくことで、家庭での利用拡大や持続的な価格下落を防ぐ事として活用した事業である。

地域文化・スポーツクラブ 推進事業

コーデイネーターの費用は？

むつ市スポーツ・文化コーディネーター報酬336万円

問 コーデイネーター費用の内訳と効果は。

答 コーデイネーターへの報酬は、月額で28万円支払っている。また、毎月1回市役所に来ていただき、来年度新たに移行するクラブの準備や運営等に携わっていただいている。

諸収入

財政健全化に向け

財源の確保はどうするの？

問 市は、どのように自主財源の確保を図っているのか。

答 今回、市税が約2千万円増えているが、現状少子化等で、調定額が減少傾向にあると認識している。まずは、徴収率の確保が自主財源の確保に繋がると考えている。また、市では財政の健全化を図るため、法定外税の新設もしている。

問 各種基金を今後どのようにして健全化を進めていくのか。

答 当初予算をきちんと組んだ結果、約1%から2%の決算剰余金がでていた。従って、当初予算をしっかりと編成して決算に臨み、財政調整基金を確保していく。

※
機能別消防団員募集中

消防団定年後も地域貢献に参加

【第261回定例会】議案第60号 むつ市消防団条例の一部を改正する条例

Zoom 1

問

機能別消防団員の採用基準はあるのか。

答

定年後の消防団員及び在職5年以上の消防職員と、市内在住で18歳以上の学生で考えている。

問

活動中に負傷した場合の補償はあるのか。

答

公務災害補償制度の対象なので、負傷した場合は補償を受け取れる。



むつ市消防団



釜臥山スキー場

Zoom 2

中学生以下のスキー
リフト使用料を無料へ

大人・シルバーの
シーズン券も減額

【第261回定例会】議案第58号 むつ市釜臥山スキー場条例の一部を改正する条例

問

条例改正に至った経緯は。

答

スマイル・トークリレー「FLAT」の参加者やスキー協会等の皆様からの、リフト料金に関するご意見を踏まえ、スキー場の利用促進を図るため改正するものである。

問

大人とシルバーの時間券の検討はしなかったのか。

答

今回の改定では、いつでもスキー場に足を運んでもらいたい、こどもがスキーを滑れるようにとの思いで、シーズン券と小人の見直しを行った。

問

市内の他のスポーツ施設も無料にする考えはないのか。

答

スキー場は予約の必要がなく、いつでも誰でも入場制限なく利用できる施設で、利用期間も限られている。他の施設については利用者数や政策的観点から検討していく。

問

利用料の収入減により、指定管理料が増えることで財政的影響はあるのか。

答

この度の条例改正により、年間で約320万円の指定管理料が増額になるが、事業の経費削減のほか、今後新たな財源の確保等により、更なる一般財源の抑制に努めていく。

この議案でむつ市の何が変わるのか。 「注目の議案に

Zoom 3

【第261回定例会】議案第06号 令和6年度むつ市一般会計補正予算

むつ市の魅力をさらに伝えるために

ネクストフロンティア開拓事業費 194万2000円

むつ市アウトドアブランドデザイン策定事業費

492万5000円

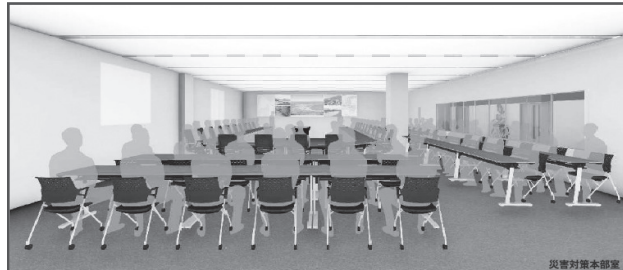
問 ネクストフロンティア開拓事業の詳細と事業目的は。

答 稼げる地域の構築を目指し、輸出、インバウンド、ブランディングの各コンセプトに基づき、シンガポール、台湾高雄市、ロサンゼルス市でプロモーション事業を行い、販路開拓、新たな需要の創出を目的としたものである。

問 むつ市アウトドアブランドデザイン策定事業の目的は。

答 むつ市の豊かな自然資源を生かし、幅広い世代を対象とする滞在型、体験型の観光について、エコツーリズムを促進し、観光客の増加、経済の活性化を図る将来構想を民間事業者から提案を受けるためのものである。

※機能別消防団員とは？
能力や事情に応じて、特定の活動にのみ参加する消防団員のこと。



デジタル防災センター完成予想図

Zoom 4

【第167回臨時会】議案第55号 令和6年度むつ市一般会計補正予算

デジタル防災センター 本庁舎解放エリアに整備

令和8年4月の

供用開始を目指す

問 なぜ補正予算が定例会ではなく、臨時会への上程となったのか。

答 デジタル防災センター整備事業に係る設計業務は、令和5年度からの繰越事業となっており、このたびは事業費がおおむね判明しているため、採択となった場合、交付決定が8月下旬を予定しており、9月定例会において契約についての議決をいただく必要があることから、本臨時会に関連予算を上程することになった。

問 機能や活用方法はどのように考えているのか。

答 避難所エリアと防災デジタルセンターの2つのエリアに分けて整備をする。平常時は、避難所エリアは、多目的ホールにおいて防災を啓発する展示のほか、クーリングシェルターや健診場所として使用することを想定している。また、デジタル防災センターエリアは、防災安全課の執務室や会見室を配置し、災害対策本部は小・中学生等を対象とした防災教育の会場としても活用する。

※ここに掲載していない議案も含め、各議案の議決結果は6ページをご覧ください。

◎ 第167回臨時会

議案番号	件名	審議結果
55	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎

◎ 第261回定例会

議案番号	件名	審議結果
56	むつ市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例	○
57	むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	◎
58	むつ市釜臥山スキー場条例の一部を改正する条例	◎
59	むつ市水道事業給水条例の一部を改正する条例	◎
60	むつ市消防団条例の一部を改正する条例	◎
61	財産の取得について(移動式トイレ「トイレカー」)	◎
62	財産の取得について(除雪ドーザ(11t級))	◎
63	財産の取得について(除雪ドーザ(14t級))	◎
64	字の区域の変更について	◎
65	青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○
66	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎
67	令和6年度むつ市介護保険特別会計補正予算	◎
68	令和5年度むつ市一般会計歳入歳出決算	○
69	令和5年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	◎
70	令和5年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	◎
71	令和5年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	◎
72	令和5年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	◎

ここでおさえる 臨時会・定例会の 議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし

議案番号	件名	審議結果
73	令和5年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	◎
74	令和5年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	◎
75	令和5年度むつ市水道事業会計決算	◎
76	令和5年度むつ市下水道事業会計利益剰余金の処分について	◎
77	令和5年度むつ市下水道事業会計決算	◎
78	むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○
79	工事請負契約の締結について(むつ市デジタル防災センター整備工事(建築工事))	◎
80	工事請負契約の締結について(むつ市デジタル防災センター整備工事(電気設備工事))	◎
81	工事請負契約の締結について(むつ市デジタル防災センター整備工事(機械設備工事))	◎
報16	令和5年度むつ市一般会計継続費精算報告書	－
報17	令和5年度むつ市水道事業会計継続費精算報告書	－
報18	令和5年度むつ市健全化判断比率について	－
報19	令和5年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	－
報20	専決処分した事項の報告について(附帯控訴の提起について)	－
報21	専決処分した事項の報告について(和解について)	－
報22	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	－

◎ 議決結果／賛否一覽

各議員の賛否一覽

賛否がの議案について、議員別に賛成・反対を公表します。

○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決時に不在。議長(富岡幸夫)は採決に加わらない

議案番号等	議決結果	合計			市誠クラブ					公明・自由			自民クラブ				陸奥未来				会派に属しない議員					
		賛成	反対	欠席・不在	佐賀英生	東健而	野中貴健	大龍次男	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	富岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	富岡直哉	高橋征志	杉浦弘樹	佐藤武	工藤祥子	濱田栄子
議案56	可決	18	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案65	可決	17	3	1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
議案68	可決	18	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案78	可決	18	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



◎ 一般質問



(無会派) 高橋征志 議員が問う

計画の実行性

問 使用済燃料中間貯蔵施設を足掛かりに、最終処分場(地層処分)の誘致につながり、使用済核燃料が「永久貯蔵」されるのではないかと懸念もあると考える。市として「最終処分場は誘致しない」との理解でよいのか。

答 高レベル放射性廃棄物については、国と県との間で青森県を最終処分地にしない確約がある。市から最終処分場を求めることはない。

問 文化財展示施設の整備については、約30年前から長期計画に位置づけられてきた

答 使用済燃料中間貯蔵施設ができていない。市の長期計画は実行性に欠けるのでは。

問 収集品のデータベース化等、将来の施設整備を見え調査研究を継続している。

答 収集品のデータベース化等、将来の施設整備を見え調査研究を継続している。

問 むつ市総合経営計画の目標未達成項目について、原因をどのように分析し、どのような改善策を講じたのか。

答 実現が難しい目標でも、目指す必要があるので目標設定しているものもある。そのような目標値は、市の掲げる将来像や目指す姿に確実に近づいていくものと捉えている。

一般質問 13の視点

議員から独自の視点で質問・提案する一般質問。今回は13人が登壇。



ホームページでは一般質問を音声でお聴きいただけます

計画の実効性	P.7	地域通貨見送り	P.9
警戒地区内の広報	P.7	高校通学の問題点	P.9
新規事業と感染症	P.7	公共施設の再編	P.9
デジタル防災無線	P.8	除雪待機保証見直し	P.9
大湊バイパス事業	P.8	マイナ保険証	P.10
带状疱疹予防接種	P.8	選挙の投票行動	P.10
合併後の市政課題	P.8		



(公明・自由) 櫻田秀夫 議員が問う

新規事業と感染症

問 ごみ出し支援の今後予想される事業の課題と対策は。

答 9月5日から5世帯で戸別収集を開始。今後さらに支援を必要とする方が増えるものと考えます。戸別収集を必要とする全ての方が、支援を受けられるよう、しっかりと周知を図ってまいります。

問 RSウイルス疾患の周知、注意喚起と今後むつ市に

答 おいて、公費助成の検討を。Rウイルス疾患につきましては、市のホームページ等を通して積極的に感染拡大防止を図り、注意喚起に努めてまいります。また、公費助成につきましては、予防接種事業全体のバランスや対象者の費用負担等を総合的に勘案して調査研究してまいります。



(市誠クラブ) 佐賀英生 議員が問う

警戒地区内の広報



問 青森県における土砂災害危険箇所2646か所の公表に至った経緯と基準、警戒地区内の広報について。

答 国において、近年の大雨で土砂災害区域外で災害が発生した事例があることから、令和2年度に土砂災害防止対策基本方針の改定により、新たに土砂災害が発生する恐れのある箇所の抽出を、令和5年度までに行い、公表に至った。広報に関しては、むつ地区で平成18年度・19年度、川内地区で平成21年度、大畑地区で19年度、脇野沢地区で平成23年度に行った。

問 毎年8月第一週の土曜日、日曜日は社会教育に向かうべきと考えるが。

答 大畑地区のねぶたに関する事と意識しているが、小中学生のスポーツイベントが集中し、全体の行事であり、変更は難しいと考える。

(陸奥未来) 村中浩明 議員が問う

大湊バイパス事業



と。成を目標すとのこ



終

問 国道338号大湊II期バイパス事業の進捗状況は。海上自衛隊側の1工区は支障物の移設や道路改良工事が行われている。むつ市街地側の2工区は未取得の用地について土地収用法に基づき本年7月に全ての申請を終えている。県

問 斗南藩史跡地の駐車場整備と観光案内看板の整備は。利用状況を鑑み、歴史的な景観を後世に伝えるための努力を継続し、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら適正に管理していく。

答 釜臥山展望台について、一部破損している箇所を修繕等、必要に応じて検討する。

(無会派) 工藤祥子 議員が問う

デジタル防災無線



問 デジタル化に伴い影響を受ける世帯数は。この事業は無線を津波災害に特化したもので、整備は市内の沿岸部に限られる。令和6年6月1日現在、むつ地区6120世帯、大畑地区が1067世帯、川内地区が664世帯、脇野沢地区が192世帯です。

問 整備地域の住民から以前と同様に町内放送ができないのは困るとの声があるが。そのような声も頂いており、整備対象の地域内外を問わず、研究していきます。

問 他市のように生活保護制度の周知にポスター作成、チラシ配布をすべきでは。今後、他市の状況を参考にし、研究していきます。

(自民クラブ) 浅利竹二郎 議員が問う

合併後の市政課題



問 平成の大合併(平成27年)から20年、過去三代の市長が取り組んだそれぞれの市政課題は何か。

答 合併時の杉山肅市長は合併時点において20億円を超える一般会計実質赤字を背景に、「新市最大の課題は財政再建の一語に尽きる」とした。二代目宮下順一郎市長は計画年度を一年前倒しして実質収支の黒字化を果たされたものの、引き続き財政の健全化を市政の重要課題として取り組まれた。三代目宮下宗一郎市長は平成27年に財政中期見通

(公明・自由) 住吉年広 議員が問う

带状疱疹予防接種



問 带状疱疹予防接種事業が定期接種(B類疾病)の対象になった場合の市の考え方について伺う。

答 令和6年3月末時点で要支援、要介護認定高齢者のうち、「認知症の日常自立度」で支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがみられる方は2618人。65歳以上の人口の14%が認知症を呈している。なお、実際に認知症と診断された統計データでなく、あくまでも一つの目安となります。



◎ 一般質問



(無会派) 杉浦弘樹 議員が問う

高校通学の問題点

問 今年度から、西通地区を運行するスクールバスの減便の影響で、高等学校通学費補助金事業のスクールバス利用者者の申請率が、西通地区37%、北通地区84%と利用率に大きく差がある。市では、利用率の改善に向け、今後制度変更や、路線バスも含めた運行時間の変更、増便等の対応を行う考えはあるか。

答 市としても、行政による遅い時間に合わせたスクールバスの運行も考えたが、運行に係る運転手の確保は、交通事業者に限らず難しい現状

である。また、公共交通機関に乗って欲しい思いもある中で、川内・脇野沢方面に帰る方が路線バスを利用できるよう、時間の変更等様々な方法を考えている。地域一体となつて、地域の皆様の課題をどう解決していくか議論していくことが必要であり、市のこどもたちのため、保護者の皆様の御協力もいただきながら、バス事業者、行政も含めできることを考え続け、意見を交わしていくことが重要である。



(陸奥未来) 富岡直哉 議員が問う

地域通貨見送り

問 デジタル地域通貨導入に当たっての課題は。

答 デジタル地域通貨の導入には、まず収益性が大きな課題になるものと認識している。当市における収益を試算したところ、決済手数料による収益を地域通貨のシステム料金等の経費が支出を上回り、経常的な赤字が予想され、持続可能な事業運営は難しいものと考えることから、本事業については、一度立ち止まり、運営費コストの課題が解決できるようになった場合には、再度検討に着手したいと考えている。

問 市内循環バス(ムーヴィ)の今後について、市はどのように考えているか。

答 ムーヴィを含めた市内路線バスの運行ルートや運行ダイヤ、乗り継ぎ等の問題について、地域の実情に応じた効果的かつ効率的な公共交通体系への見直しを今年度策定する下北地域公共交通計画に位置づけ、バス事業者とともに検討してまいりたいと考えている。



(市誠クラブ) 佐藤広政 議員が問う

除雪待機保証見直

問 除排雪業者との契約において昨年度から変更となる点は。

答 令和5年度の暖冬による少雪を受け、除排雪業者などから機械、人員の維持に苦慮しており除排雪業務の継続が困難になりつつあると相談があったことから、市では約20年前から実施している除雪機械に係る人件費や管理費に

対する保証制度を実施しておりますが、現在、青森県が令和2年度から実施している保証制度を参考に制度の見直しを行っているところであり、今年度の契約から反映することとしております。

問 特別な配慮を必要とする児童生徒の支援についての対応は。

答 特別支援教育は、全てのこどもが個々のニーズに応じた教育を受ける権利を持ち、一部の学校に限らず、全ての学校が個別のニーズに対応しておりますので、御心配がございましたら、通学している学校や教育委員会に御相談いただければと思います。



(陸奥未来) 佐々木隆徳 議員が問う

公共施設の再編

問 脇野沢地区の公共施設再編について市の考えは。

答 当該地区においては、人口減少や少子高齢化が進む中、施設利用者の大幅な減少に加え、施設の老朽化等から維持管理費が増加しており、施設の統合再編に伴い、市民のニーズに即した新たな賑わい拠点を整備し、持続可能な地域づくりを進めてまいりたい。

問 令和7年度末で廃止予定の鯛島の館には農業振興公社の事務所、鱈の里には売店があり、その対応は。

答 農業振興公社の事務所に ついては、新たな施設の機能や公社の事業内容を総合的に考慮し、検討したい。また、売店についてもお土産や地域の特産品を購入できるよう、新たな施設の検討を進める中で方針を定める。

問 デジタル防災行政無線の災害時以外の放送は可能か。

答 津波情報、Jアラート等の災害情報以外の放送については、津波災害に特化したものであり、災害以外の放送は考慮していない。

(市誠クラブ)
東健而 議員が問う

選挙の投票行動



問 義務教育の主権者教育の考えについて伺いたい。

答 選挙年齢の引き下げに伴い、若者の選挙制度への理解を深め、政治参加意識を育成するための主権者教育が一層重視されている。

各学校では、政治的中立な立場を保ちながら社会の一員としての自覚を育む指導が児童生徒の発達段階に即して行われている。社会科では、現実社会について判断する際に必要な個人の尊厳、民主主義といった概念を、多面的多角的に考察したり構想すること

(無会派)
佐藤武 議員が問う

マイナ保険証



問 使用済核燃料をむつ市中間貯蔵施設に貯蔵する期間は、2棟目の供用開始から50年後ということですね。

答 施設全体の使用終了時期は、最長でも2棟目の使用開始から50年後である。

問 一旦搬入した使用済核燃料を他の自治体に戻すことになると、搬出先の自治体の同意が必要になるのではないかと。

答 事業者の責務として確実に搬出してもらうことなるほか、搬出先の自治体との調整についても、事業者及び

国の責任の下で誠意をもって取り組まれるものと考えている。

問 マイナ保険証について制度の概要を伺います。

答 令和6年12月2日から新規保険証が発行されなくなるが、現行の保険証は有効期限まで利用可能だ。マイナ保険証を利用する方はマイナ保険証の利用を、マイナ保険証を持っていない方は、資格確認書が送付されるので、それを利用することで、全ての方が受診できるので安心してほしい。

と、社会的事象に継続的に関心を持ち続け情報発信者の意図などに留意して情報を収集する資質・能力の育成に努めている。

具体的には、小学校第6学年の社会で選挙の在り方について学習し、中学校では歴史的分野との関連を図りながら第3学年において公民的分野で学習している。

会 議 協 員 全

むつ総合病院新病棟建設事業に係る事業費再積算等の完了について

概要

8月22日、全員協議会が開催され、市長からむつ総合病院新病棟建設事業の現況について報告を受けた。

下北医療センターでは、令和5年9月の入札不調以降、「施工体制の確保に配慮した入札スキーム作り」及び「事業費の見直し」を重要課題として、今回の入札に向けた取組が進められてきた。今回の入札では、余裕期間制度が採用され、この制度により受注者は全体工期として設定した契約締結日の翌日から令和12年2月末までの約62か月の間で、工事の着工及び完成日を任意で設定することができることになる。



むつ総合病院新病等完成予想図(下北医療センター提供)

総事業費は、再積算の結果、令和5年6月末時点から約88億円増額の約350億円となった。その要因には、社会情勢による建設資材等の価格高騰や労務費、運搬費等の上昇が大きく影響し、県内中核都市から離れた半島地域にあるという下北の地域性が、その影響を一層大きくしたものであると考えているとのことである。

現在のむつ総合病院一般病棟の耐震性能、昨今の物価上昇や将来想定されている労働者不足等も勘案し、早期建替えの実現に向けて、財源確保及び経営改善の取組を継続することが、市としても最善の道と考えているとのことである。

下北医療センターでは、むつ総合病院新病棟の供用開始に向け、下北地域に暮らす市民の皆様への医療提供に支障を来さぬよう、万全を期して進めていく方針としていることから、むつ市として全面的に協力していくとの報告があった。

使用する燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会

安全協定・覚書

● 協定書内容に変更は？

問 安全協定書の内容に変更はあったのか。
答 安全協定書の内容について、変更はない。

● 覚書の必要性とは？

問 覚書が必要であると判断した点は何か。
答 市議会、市民の皆さまから多く頂いた意見が、核燃料サイクルを基本とする国の方針が変更となった場合と、搬出時に再処理工場が稼働していない場合においても使用済燃料が搬出されるよう確約が必要という点であった。不測の事態において、搬出等、適切な対応がとられることを規定することにより、市民の皆さまの懸念の解消に寄与しているものと考えている。また、貯蔵期間経過後、使用済燃料が搬出されることを確約していたため、覚書の締結に至ったものであり、覚書の締結により、永久貯蔵場所とならないことが約束されたものと認識している。

● 安全協定・覚書の効力は？

問 安全協定と覚書の法的効力等はあるのか。
答 安全協定に関して法的拘束力のある契約に当たるものと位置づけられており、法律上の保護の下、協定書の内容の確実な履行がされるものと理解している。覚書も重要かつ意味のある事業者と地域との約束事であると考えている。

● 風評被害の対応は？

問 風評被害の認定委員会とは。
答 リサイクル燃料貯蔵風評被害認定委員会が県で設置される。市としても、積極的に参加し風評被害のなように努める。

民生福祉常任委員会

● 大分県竹田市

「認知症総合支援事業・買物弱者支援対策について」

● 鹿児島県鹿児島市

「ゼロカーボンシティがごしまの取組について」

竹田市は65歳以上の高齢化率が49.7%という状況の中、元気な高齢者が地域を支えている現状である。専門職の確保が難しい状況でありながら、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業・生活支援体制整備事業・介護予防・日常生活支援総合事業、この4つの事業を連動させ、専門職が連携し、協働で事業を進めている。買物弱者支援対策においては、予約型乗合タクシーカモシカ号の事業は市民の生活にとって欠かせないものとなっていると感じた。

「ゼロカーボンシティがごしま」とは、鹿児島市が2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすることを目指して取り組んでいるプロジェクトである。この取組は、気候危機に対処し、持続可能な未来を実現するためにとても重要である。具体的な取組として、太陽光発電システムや再生可能エネルギーの導入、電気自動車や燃料電池自動車の普及促進、廃棄物の有効活用などが行われている。「かごしま環境未来館」は環境学習の拠点施設として環境に関する様々な展示やイベントや講座を開催されていてごどもから大人まで環境に対して楽しく学べるとても素晴らしい施設であった。



「ゼロカーボンシティがごしまの取組」視察時の様子

民生福祉常任委員会委員長 村中浩明

行政視察報告

要望活動

国土交通省・防衛省・青森県選出国会議員へ 地域の課題を伝える



7/25：大湊地区總監（仮称）の海将としての継続配置、大湊地区隊（仮称）への護衛艦（FF M）2隻の追加配備及び当市にゆかりのある名称のイージス・システム搭載艦1隻の新規配備並びに大湊地区隊（仮称）の定員規模の維持・体制強化について、防衛省及び国会議員に要望しました。（写真/防衛省へ要望）



7/24：自然災害の発生により甚大な被害が生じるおそれのある下北半島において、必要なインフラ整備が着実に進められるよう、下北半島における「国土強靱化」の推進について国土交通省及び国会議員に要望しました。（写真/国土交通省へ要望）

TOPICS 市民の声

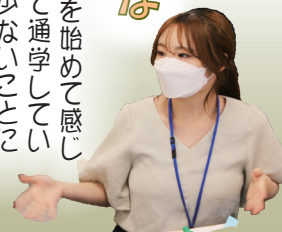
青森大学むつキャンパス生と むつ市を語る～PART1～

7月18日にむつ市議会の新たな取組として、若者への議会への関心の向上とむつ市の未来を担う学生との意見交換を目的とし、「青森大学むつキャンパス学生とむつ市議会議員との意見交換会」を開催しました。意見交換会で出された学生の意見を数回に分けて紹介します。



むつキャンパスでの大学生活を始めて感じたことは、公共交通を利用して通学してはいますが、バスや電車の本数が少ないことに改めて不便を感じました。キャンパスまでのアクセスが改善されると、より効率的に1日を過ごすことができます。また、卒業後はむつ市での就職を考えていますので、アルバイトとして様々な企業を体験できれば、より自分にあつた就職先を探ることができると思っているので、大学生向けの求人を増やして欲しいです。

こうだったら
むつ市はいいのにな



編集後記

今号での市民の声は、青森大学むつキャンパス学生との意見交換会を開催し、学生さんの貴重なご意見を伺いました。今後も市民の皆様が手に取りやすい「議会だより」となるよう広報広聴委員会一同取り組んでまいります。（村中）



議員有志で「まさかりしガツタ」へ参加!